

一般社団法人日本地域看護学会 2020年度第1回理事会議事録

- I. 日 時 2020年5月29日(金) 17:00~19:00
- II. 会 場 Zoomによるオンライン会議
- III. 配信元 株式会社ワールドプランニング会議室
(東京都新宿区神楽坂4丁目1番1号)
- IV. 出席者
- | | |
|------|---|
| 理事長 | 宮崎美砂子 |
| 副理事長 | 荒木田美香子, 田高 悦子 |
| 理 事 | 石橋みゆき, 石丸 美奈, 上野 昌江, 大森 純子,
岸 恵美子, 北山三津子, 河野あゆみ, 小西かおる,
田村須賀子, 永田 智子, 春山 早苗 |
| 監 事 | 佐伯 和子, 村嶋 幸代 |
| 事務局 | 筒井 愛, 野田 智己 (*印は欠席者) |

宮崎理事長より、理事の過半数が出席していることから、定款第38条に則り、本理事会の成立が宣言された。また、本理事会の議事録署名人として、宮崎理事長および別所監事が指名された。

V. 議 事

報告事項

1. 第23回学術集会について(河野理事)資料1

第23回学術集会(2020年8月29~30日)は、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染拡大の予防と来場者の安全と健康を第一に考え、現地開催を中止とし、誌上開催に変更した旨を報告した。参加費は返金対応とし、演題・ワークショップ登録者には登録費として3,000円を徴収することとした。また、講演集は、冊子体では発行せず、学会HPと学術集会HP上でPDF形式にて会員・非会員に関わらず公開することとした。

2. 第24回学術集会について(岸理事)

第24回学術集会(2021年9月11~12日)に向けて、運営体制、講師依頼、プログラムを検討中である旨を報告した。

3. 会員数について(石丸理事)資料2

5月22日時点での会員数は、1,515人である旨を報告した。

4. 委員会報告について

1) 編集委員会(北山理事)

第1回委員会を6月6日に開催予定である旨、また、2020年度活動計画を委員会内にて確認することを報告した。

2) 研究活動推進委員会(大森理事)

第1回研究セミナー(3月8日開催)が、新型コロナウイルス拡大予防および拡散防止対策により延期したこと、参加者全員に連絡を行い、HP上に案内文を掲載したこと、今後はWeb配信も含めて準備していくことが報告された。

3) 広報委員会(田村理事)資料3

一般社団法人日本看護学校協議会会員校を対象に、学術集会の案内チラシ・質問紙を郵送した調査結果について、資料を基に報告した。442校中、回答数は67件(回収率15.2%)であり、学会や学術集会等に対する期待や要望等や、事例を通して様々な見解が討論される学会を希望しているなどの意見が寄せられたことが報告された。

4) 教育委員会(岸理事)

地域看護学の到達目標の検討、地域看護学の教育内容・方法の検討について、委員会内で検討を行っていること、今後は他学会との連携や意見交換なども行っていく旨が報告された。

5) 国際交流推進委員会（河野理事）

第 23 巻第 1 号に英文ニュースレターNo.19 を掲載した旨を報告した。

6) 表彰論文選考委員会（上野理事）

2019 年度論文賞優秀賞 1 編、奨励賞 2 編を選定したこと、また、名誉会員に別所遊子氏が推薦されたことが報告された。

7) 災害支援のあり方検討委員会（春山理事）

第 22 回学術集会時（2019 年 8 月 18 日）に、ワークショップを開催し、48 名の参加があったこと、栃木県より要請があり、台風 19 号による被災市町村の保健活動に関する収集および振り返り支援を行った旨が報告された。また、第 23 回学術集会にてワークショップを開催予定であったが、誌上開催に伴い、取り下げることにした。

8) 地域看護学術検討ワーキンググループ（春山理事）

第 22 回学術集会時（2019 年 8 月 18 日）に、ワークショップを開催し、98 名の参加があったこと、学会誌第 23 巻第 1 号に、「地域看護学」の再定義；これからの地域看護学の実践・教育・研究」の報告を掲載したこと、また、以上をもって、ワーキンググループの活動が終了したことが報告された。

審議事項

1. 2019 年度第 5 回理事会及びメール審議の議事録の承認について（宮崎理事）資料 4

議事録の内容を確認し、一部を修正のうえ、これを承認した。

2. 2020 年度社員総会について（石丸理事）資料 5

2020 年度社員総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から対面での開催を中止し、書面にて決議を取る形式に開催に変更することを決定した。議決権を有する社員に開催通知・議題・資料を送付し、メール・FAX にて回答を受け付け、後日、議事録と学会 HP にて審議結果を報告することとした。

3. 2019 年度事業報告について（宮崎理事）資料 6

2019 年度事業報告について、2019 年度事業報告書（学会全体および委員会活動）を基に確認し、社員総会に諮ることとした。

4. 2019 年度決算案について（石橋理事）資料 7

2019 年度決算について、貸借対照表、収支計算書、財産目録を基に確認し、社員総会に諮ることとした。

5. 監査について（佐伯・村嶋監事）資料 8

5 月 22 日に業務および会計に関する監査を行った旨を報告した。監事より、地域看護学の構築と拡大についての評価とともに、会員数が横ばい状態であることから、今後、会員増に向けて当学会がどのような方向を目指していくかを明確にすべきである等の監査報告がなされた。

6. 2020 年度事業計画ならびに 2021 年度事業計画案について（石丸理事）資料 9

2020 年度事業計画書、2021 年度事業計画書を基に確認し、2019 年度社員総会に諮ることとした。

7. 2020 年度予算案について（石橋理事）資料 10、補足資料

2020 年度予算について、2019 年度予算書を基に確認し、2019 年度社員総会に諮ることとした。また、研究活動推進委員会より、延期となったセミナーを Web 配信を含めて再度調整を行うための予算が申請され、承認された。

今年度は、新型コロナウイルスによる感染拡大の懸念があり、対面での会議の開催は困難であることから、Zoom などの Web 会議ツールのライセンス購入費が必要となるため、これらの予算も承認した。

8. 健康危機管理支援システム（ブロック調節候補者）について（春山理事）資料 11、

大規模災害等健康危機発生時において、厚生労働省、自治体、関係団体などから支援要請を受けた場合に、当学会として、速やかに対応できる支援体制を構築する必要があることから、地域ごとに候補者案を選定したことが報告された。今後、システムの運用や学会の後方支援などを含めて、引き続き検討することとなった。

9. 2020 年度会員報告会について

2020 年度会員報告会の開催については、学術集会が誌上開催になったことに伴い、学会 HP にて公開することとした。

10. 入退会者申請者について（石丸理事）資料 12、入会申込書

入会申請者 4 人、退会申請者 56 人（2018 年度退会：53 人、2019 年度退会：3 人）について、資料を基に確認し、これを承認した。なお、入会申請者のうち推薦人がいない者については宮崎理事長を推薦人とする旨、退会申請者のうち年会費に未納がある者は納付をもって退会を認める旨を確認した。

11. 第 25 回学術集会長について（宮崎理事）

2022 年開催の第 25 回学術集会の学術集会長について、田村須賀子理事（富山大学）より、内諾を得られたことが報告された。

12. その他

1) 理事会の開催について

例年、社員総会前に行われる第 2 回理事会については、今年度は開催を見送ること、審議事項がある際にはメール審議にて対応することとした。また、それ以降の理事会については 10 月頃に、対面または Web 会議にて開催予定とした。

以上